

和光市地域公共交通事業者部会の実施報告について

開催概要

- ・ 日 時:令和8年8月5日(水曜日) 13時30分~14時50分
- ・ 場 所:和光市役所 404会議室
- ・ 出席者:会長 吉田 樹(福島大学 教授/前橋工科大学 特任教授)
山科 和仁(東武バスウエスト株式会社) 秦野 凌(西武バス株式会社)
松本 章宏(国際興業株式会社) 高戸 克紀(株式会社和光輸送)代理出席
田中 和徳(有限会社大和タクシー)

議事概要

■ 議事1 地域課題に対応する交通モード等に関する知見の共有について

①概要:他地域にて運行している交通モード(乗合交通、AIデマンド、グリーンスローモビリティなど)について、事業者視点の意見を伺った

②議事要旨

- ・ デマンド交通を実施している地域では、路線バスとの競合が生じないよう、事前に棲み分けを行っている。
- ・ 東京近郊においてはデマンド交通は総じて苦戦している印象である。グリーンスローモビリティやライドシェアについても、効果が限定的な事例が多い。
- ・ タクシー利用料補助制度について、紙チケットに加え、配車アプリも選択肢となり得る。

■ 議事2 各事業者における運行上の課題について

①概要:各公共交通事業者における、経営上の現状課題について意見を伺った

②議事要旨

- ・ 運転手不足は回復傾向にあるが、入職者の年齢層が高いことから、長期的に考えて、若年層の採用が課題である。また、事務職や整備部門の人材確保も課題である。
- ・ 路線バスと市内循環バスが重複する区間もあるが、運賃格差が生じている。
- ・ 和光市駅北口の交通広場整備に際しては、事業者の実態を踏まえ、計画的に検討していただきたい。

■ 議事3 バス専用車線の規制緩和について

①概要:外環側道に整備したバス専用車線の規制緩和可能性について意見を伺った

②議事要旨

- ・ 自動運転車両の運行も見据えるならば、通行車両が混在することは望ましくない。
- ・ 白ナンバー車両の混在は規制上も管理が困難である。緑ナンバー車両のみ走行可といった線引きが現実的と考える。